

【三重県】

現在の景気：持ち直し。

3か月程度の見通し：緩やかな持ち直し基調で推移するとみられている。

個人消費：緩やかに持ち直し。3月の乗用車販売は前年比69.4%増と7か月連続で増加、軽乗用車販売は59.5%増と6か月連続で増加。2月の大型小売店販売(店調前)は前年比0.5%減と7か月連続で減少。店調後は前年比1.7%減と7か月連続で減少。

住宅建築：低水準で推移。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比3.9%増と2か月連続で増加、分譲住宅が3.0%増と2か月連続で増加したものの、貸家が36.2%減と2か月ぶりに減少し、全体では前年比11.2%減と2か月ぶりに減少。

設備投資：堅調。3月の貨物車登録台数(軽除く)は前年比42.2%増と8か月連続で増加。

2月の建築着工床面積(非居住用)は前年比12.0%増と4か月連続で増加。1月の資本財生産は前年比28.7%増と24か月連続で増加。

公共工事：一進一退。3月の公共工事請負額は前年比17.0%減と3か月ぶりに減少。件数は前年比43.9%増と4か月連続で増加。

輸出：下振れ。2月の四日市港通関輸出額は前年比20.1%減と3か月連続で減少。主要製品の自動車は前年比26.4%減と2か月ぶりに減少、自動車の部分品が2.1%減と19か月連続で減少、石油製品、プラスチック、半導体電子部品なども減少。

生産活動：持ち直し。1月の鉱工業生産指数(季調済)は前月比8.8%上昇し2か月連続で上昇。輸送機械が前月比17.0%上昇、金属製品が67.7%上昇、プラスチック製品が30.5%上昇、一般機械が3.4%低下、情報通信機械が35.1%低下。原指数は前年比0.1%上昇し5か月ぶりに上昇。2月の大口電力使用量は前年比10.1%増と10か月連続で増加。

観光：減少傾向。1月の県内主要水族館入場者数は前年比3.4%減と5か月連続で減少。

雇用情勢：持ち直し。2月の有効求人倍率(季調済)は前月比0.04ポイント上昇し0.85倍と8か月連続で上昇。正社員の有効求人倍率は前年比0.09ポイント上昇し0.50倍。

(トピックス)

3月26日、中日本高速道路は、東名阪自動車道の「四日市東IC - 鈴鹿IC」を、渋滞対策のため年末までに暫定3車線にすると発表。同区間は、伊勢湾岸自動車道や新名神高速道路の開通などに伴って、通行量が1日約10万台に増え、朝夕を中心に10km単位の渋滞も多発。道路全体の幅を変えず、車線の幅員を縮小して新たな1車線を設置し、伊勢神宮の式年遷宮(2013年)までに間に合わせる計画。

3月26日、太陽電池のカナダ最大手メーカーの日本法人「カナディアン・ソーラー・ジャパン」が、津市にメガソーラーを建設する計画を発表。発電量は一般家庭500~600軒分に相当する2,000kwで、外資系メーカーによるメガソーラーの建設は国内初のケース。津市内に約4haの遊休地を保有するエレクトロニクス商社「伯東」と共同で実施するもので、本年度中に稼働を開始して全量を電力会社に売電する計画。

4月7日、来年の第62回神宮式年遷宮を記念して、伊勢神宮外宮(伊勢市)に「せんぐう館」がオープン。せんぐう館は、式年遷宮の伝統や美についてより理解を深める拠点として、また休憩施設を備えた参宮の憩いの場としての役割を果たす。